

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																												
仙台総合ペット専門学校	昭和58年10月22日	菅原 一博	〒980-0014 宮城県仙台市青葉区2丁目11-20 (電話) 022-221-1112																												
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																												
学校法人菅原学園	昭和35年3月26日	理事長 菅原 一博	〒980-0014 宮城県仙台市青葉区2丁目11-10 (電話) 022-221-1111																												
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																											
文化・教養	文化教養専門課程	キャット科	平成27年 文部科学省告示第13号	-																											
学科の目的	人と猫が幸せに共生できる社会実現のために、猫の生態、習性、行動を深く理解し、飼い主様に対して適正飼養管理の知識及び愛護精神を伝えることができる猫のプロフェッショナルを育成することを目的とする。また、猫を取り巻く環境問題についても関心を持ち、地域猫活動やボランティア活動とおして不幸な猫を減らすための「動物福祉」について積極的な取り組みができる人材育成を目指す。																														
認定年月日	平成29年2月28日																														
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時間又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																								
2	年間	2,516時間	816時間	68時間	1,632時間	-	0																								
生徒総定員	生徒定員	留学生数(生徒定員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																										
40人	21人	0人	8人	5人	13人																										
学期制度	■1学期:4月1日～9月30日 ■2学期:10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 各学期末に行う試験、実習の成果、履修状況を総合勘案して行う。評価は、100点法とABCDの4段階法を併用して行い5割以上(C段階以上)の評価で合格とする。																											
長期休み	■夏季:7月25日～8月21日 ■冬季:12月24日～1月10日 ■春季:3月21日～4月10日		卒業・進級条件	各授業科目において、5分の4以上出席し履修が認められ、成績評価において合格し修了を認定された者に対し進級および卒業を認める。卒業については、所定の年限以上在学し、課程を修了したと認められた者とする。																											
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 ・担任との面談・保護者連絡の実施 ・スクールカウンセラーとの面談実施		課外活動	■課外活動の種類 保護犬猫譲渡会ボランティア・ドッグショー見学・キャットショー見学・スポーツ大会・文化祭 ■サークル活動: 無 ■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和元年度卒業生に関する令和2年5月1日時点の情報)																											
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(令和元年度卒業生) ペットサロン・ペットショップ・猫カフェ ■就職指導内容 1年次:業界理解・自己理解・電話応対・履歴書作成 2年次:求人紹介・個人面談・応募書類作成 ■卒業生数: 7人 ■就職希望者数: 7人 ■就職者数: 7人 ■就職率: 100% ■卒業生に占める就職者の割合: 100% ■その他 ・進学者数: 0人 (令和元年度卒業生に関する令和2年5月1日時点の情報)		主な学修成果(資格・検定等)※3	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2級愛玩動物飼養管理士</td> <td>③</td> <td>12人</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>秘書技能検定試験3級</td> <td>③</td> <td>10人</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>ビジネス能力検定ジョブパス3級</td> <td>③</td> <td>14人</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>損害保険募集人試験</td> <td>③</td> <td>2人</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>家庭動物管理士試験</td> <td>③</td> <td>2人</td> <td>2人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)</p> <p>■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等</p>				資格・検定名	種	受験者数	合格者数	2級愛玩動物飼養管理士	③	12人	10人	秘書技能検定試験3級	③	10人	9人	ビジネス能力検定ジョブパス3級	③	14人	12人	損害保険募集人試験	③	2人	2人	家庭動物管理士試験	③	2人	2人
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																												
2級愛玩動物飼養管理士	③	12人	10人																												
秘書技能検定試験3級	③	10人	9人																												
ビジネス能力検定ジョブパス3級	③	14人	12人																												
損害保険募集人試験	③	2人	2人																												
家庭動物管理士試験	③	2人	2人																												
中途退学の現状	■中途退学者 4名 平成31年4月1日時点において、在学者21名(平成31年4月1日入学者を含む) 令和2年3月31日時点において、在学者17名(令和2年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 経済的理由、進路変更 ■中退防止・中退者支援のための取組 カウンセリングルームの設置に加え、定期的に学校満足度・学校生活意欲調査を実施し、学生一人ひとりの抱える悩みを把握し個別面談に活かしている。また、必要に応じて保護者を含め担任、科長、副校長との面談を実施している。		■中退率 19.1%																												
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ※有の場合、制度内容を記入 ・菅原学園 特待生制度・菅原学園 奨学金制度(給付型奨学金) ・菅原学園 各種優遇制度(部活動優遇、課外活動優遇、皆勤優遇、資格・検定優遇、親族優遇)・菅原学園 卒園児優遇制度 ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																														
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																														
当該学科のホームページURL	http://www.sugawara.ac.jp/pet/																														

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた日以降の日付を記入し、前公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業生に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者であり、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年度に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業生に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業生に占める就職者の割合」とは、全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めませんが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

関連企業等との連携を図り、業界が求める人材と、学校が取組む人材育成が合致するよう連携をしていく。また、カリキュラムの編成にあたっては、年に2回実施する「教育課程編成委員会」の意見の他、科の教職員が関連分野の企業や卒業生の就業先へ積極的に出向き、現場が求める知識や技術、技能についての情報を収集しカリキュラムの充実を図る。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

学校法人菅原学園仙台総合ペット専門学校が、実践的かつ専門的な職業教育を実施するために企業との連携を通じて必要な情報の把握・分析を行い、教育課程(カリキュラム)の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む)に活かすことを目的として、教育課程編成委員会として位置付けている。

具体的な活用の流れとしては、学科担任がカリキュラム案を提案、教育課程編成委員会で審議されたのち副校長及び校長の許可を経て決定する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和2年3月31日現在

名前	所属	任期	種別
赤澤 暁昌	一般社団法人 全国ペット協会 事務局長	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	①
佐々木 淳子	命のリレー・アニマルサポート 猫サロン 代表	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	③
黒沢 久美子	DOGSALON Karen 代表	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	③
伊東 則道	伊達の街動物病院 院長	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	③
柳田 恵梨	DOG SCHOOLやなぎ 代表	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	③
渡邊 圭	(有)ヨネヤマ プランテーション ペットエコ仙台	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年に2回以上開催する。開催時期については、カリキュラム編成や外部委員の方々の都合等を総合的に判断して決定する。

(開催日時(実績))

第1回 令和元年12月26日 13:00～15:00

第2回 令和2年3月27日 13:00～15:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

就職先がどこであっても猫・犬の病気についてもっと学生は理解しなければいけないという意見を頂いた。それに伴い病気についてを教えてくださいと講師とミーティングを行い、働いてから関わる機会が多い病気を今まで以上に掘り下げ、病気の症状・予防法・治療方法を取り入れた。その他にも怪我をした際の応急処置方法や身体チェック方法などについても実技授業を通して学べるようにしたが今後は回数を増やせるようにしたいと考えている。また、昨年と同様に身につけた知識を自分の言葉で説明できなければ意味がないという意見も頂きロールプレイングの授業を昨年よりも回数を多くし説明方法・コミュニケーション力の向上を目指した。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

ペット業界から求められる人材の育成を基本に、専任教員と連携企業より派遣される講師が密接な連携を図り、実習授業をとおして業界で求められる技術、知識、技能を習得した即戦力を育成する。

企業が求める技術とコミュニケーション能力の優れた学生の育成という観点から、学生の技術やコミュニケーション能力について、その習熟度を教員と講師が筆記・実技試験を通してともに確認をし、業界が求める水準までの学習方法について検討・改善を行い、効果的な教材や指導方法を研究開拓する。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

猫のプロフェッショナルである講師の指導の下、実習授業を中心に様々な猫種についてグルーミング(美容実習)やキャットトレーニングの実践をし、実体験をとおして猫に関する知識・技術・職業人としての態度を統合しながら、業界で活躍するための専門的な能力・技能を身に付ける。また、動物を扱うプロとしての根本的な考え方を身につけ、飼い主様の気持ちに寄り添い支援することの重要性や、人と猫との共生を第一に考えた際に自身ができる役割について学ぶ。さらに、ショーキャットの世界を学ぶことで、より専門的で高度な技術、良い猫を見極める目を養うことにも力を入れる。なお、学修成果の評価として年に2回、期末試験の実施をおこない、実技試験・筆記試験をとおし、1. 猫種に関して、2. 適切な飼養に関して、3. 猫とのコミュニケーション技法、などの項目に従って連携企業より評価をいただいている。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
キャットグルーミング実習(1)	猫の健康状態を把握しブラッシングや爪切り、シャンプー等の基本的な美容作業について実習で学びます。	フォルテシモ
キャットグルーミング実習(2)	猫種ごとのグルーミング方法の違いやショーキャット用のグルーミング方法について学習します。	フォルテシモ
キャットコミュニケーション(1)	猫の本能、習性を活かしながら負担を最小限に抑えたトレーニングやしつけ方法について学習します。	フォルテシモ
キャットコミュニケーション(2)	猫との最適なコミュニケーションの取り方、アジリティーやしつけ方法について。また、飼い主様に対してのしつけやアドバイス方法に関して学びます。	フォルテシモ

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

職務に必要な実践的かつ専門的知識、技術及び技能習得と、広い視野の涵養を図り、優れた判断力、創造力、実行力を養い、積極的な学生等に対する指導力としなやかな感性、豊かな人間性を有する教職員を育成する。また、教職員の意識向上を図り、自己啓発を促進することを目的として行う。

なお、現在は「学園規定集」における「教育研修規定」を設けて運用している。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「動物管理センターの役割と地域猫の現状について」(連携企業等: 仙台市健康福祉局保健衛生部動物管理センター)

期間: 令和元年6月11日(火) 対象: 学生・教員

内容: キャット科2年生を対象に地域猫の現状と施設の役割についての講話と施設見学を行った。

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「一般社団法人 宮城県専修学校各種学校連合会 主催「令和元年 新任教員研修会」(連携企業等: 一般社団法人 宮城県専修学校各種学校連合会)

期間: 令和元年7月24日(水)・25日(木)・26日(金) 対象: 教員

内容: 専修学校と制度、専修学校のあり方と授業実践をとおして教員に必要とされる基礎的知識を身に付ける。

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「動物管理センターの役割と地域猫の現状について」(連携企業等: 仙台市健康福祉局保健衛生部動物管理センター)

期間: 令和2年6月中実施予定 対象: 学生・教員

内容: 動物管理センターの業務内容についての説明と施設見学、譲渡犬猫の管理について学ぶ。

※新型コロナウイルスにより延期

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「就職指導講話会」(連携企業等:一般社団法人 宮城県専修学校各種学校連合会)
 期間:令和3年2月実施予定 対象:学生・教員
 内容:就職活動に臨む上での心構えや準備などについて学ぶ。

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

学生が関係業界等のニーズを踏まえた質の高い職業教育を享受するため、実践的かつ専門的な職業教育にかかる活動等の評価し、その自己評価結果を企業等の役職員及び学校関係者と評価する。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	①理念・目的・育成人材像 ②学校における職業教育の特色 ③社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想 等
(2)学校運営	①目的等に沿った運営方針が策定されているか ②運営方針に沿った事業計画が策定されているか ③運営組織や意思決定機能は規則等において明確化され、有効に機能しているか 等
(3)教育活動	①教育理念等に沿った教育課程の編成実施方針等が策定されているか ②教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか 等
(4)学修成果	①就職率の向上 ②資格取得率の向上 等
(5)学生支援	①進路就職に対する支援体制の整備 ②学生相談に関する体制の整備 等
(6)教育環境	①施設・設備 ②学内外の実習、研修についての教育体制 等
(7)学生の受入れ募集	①学生募集活動 等
(8)財務	①学校の財務基盤 ②予算・収支計画 等
(9)法令等の遵守	①法令の遵守と適切な運営 ②個人情報保護 等
(10)社会貢献・地域貢献	①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献 ②学生のボランティア活動支援 等
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

保護猫の現状や避妊・去勢手術の重要性についてより深く理解してほしい。愛護センターや保護猫施設での研修は今後も継続的に行ってほしい。また、猫ブームということもあり、知識の取得だけでなくお客様に説明できるコミュニケーション力をさらに磨けるようシミュレーション授業を増やしている。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和2年3月31日現在

名前	所属	任期	種別
赤澤 暁昌	一般社団法人 全国ペット協会	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	企業等委員
佐々木 淳子	命のリレー・アニマルサポート 猫サロン 代表	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	企業等委員
黒沢 久美子	DOGSALON Karen 代表	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	企業等委員
伊東 則道	伊達の街動物病院 院長	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	企業等委員
星 亮介	(有)TRC 爬虫類倶楽部 仙台店 店長	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	企業等委員
松本 久美子	ペットケア クレア仙台 代表	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)

公表時期: 令和元年12月25日

URL:<https://www.sugawara.ac.jp/pet/>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

教育の質保証・向上を図るとともに企業等の学校関係者の理解を深め、連携・協力を推進するため、学校の概要をはじめ、教育内容、評価結果等の情報を学生や保護者、関係企業や社会に向けて情報提供する。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校情報の公開(目標、計画)
(2) 各学科等の教育	各科の案内
(3) 教職員	教職員数
(4) キャリア教育・実践的職業教育	資格取得・就職実績
(5) 様々な教育活動・教育環境	校舎・設備
(6) 学生の生活支援	学生寮
(7) 学生納付金・修学支援	学費について・入学サポート制度について
(8) 学校の財務	財務状況
(9) 学校評価	自己評価・学校関係者報告
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	オープンキャンパス

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ)

URL:<https://www.sugawara.ac.jp/pet/>

授業科目等の概要

(文化・教養 専門課程 キャット科) 令和元年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			キャリアガイダンス	就職試験対策（筆記・面接）に加え、企業選びをする上で必要となる求人票の見方（社会保険・福利厚生）について学ぶ。	2通	68	4	○			○	○			
○			キャリアデザイン	将来の仕事をイメージするための企業研究、自己理解、インターンシップ実習や就職活動に向けた履歴書の作成方法など、就職活動の基礎について学びます。	1後	34	2	○			○	○			
○			コミュニケーショントレーニング	ペット業界で必要とされる心構えや仕事への取り組み方、話の聞き方や話し方、場面に応じた適切なコミュニケーション方法を学ぶ。	1前	34	2	○			○	○			
○			パソコン実習（1）	「MicrosoftWord」を使用しての文書作成、広告作成をとおして、パソコンの基本操作を習得する。また、文書処理能力検定試験（ワープロ）の対策にも取り組む。	1通	68	2			○	○	○			
○			パソコン実習（2）	「MicrosoftExcel」の基本操作を身に付け、売り上げ管理、顧客情報管理などにも役立てる技術を学ぶ。また、文書処理能力検定試験（表計算）の対策にも取り組む。	2前	34	1			○	○	○			
○			ビジネスマナー	社会人として必要なビジネスマナー（一般常識、職務知識、マナー・接遇等）について全般的に学ぶ。また、ビジネス能力検定試験の対策にも取り組む。	1通	68	4	○			○	○			
	○	○	愛玩動物飼養管理士1級対策	「動物の愛玩及び管理に関する法律」の趣旨に基づき、愛玩動物（ペット）の愛護及び適正飼養管理の普及啓発活動などを行うために必要な知識を学ぶ。	2通	68	4	○			○			○	
	○	○	愛玩動物飼養管理士2級対策	動物関係法令や動物愛護運動史、保健衛生、公害問題、動物の疾病予防、管理士の社会活動、各種動物の飼養管理、犬猫のしつけ等の知識を体系的に学ぶ。	2後	34	2	○			○				
○			ドッググルーミング実習（2）	美容基礎の定着を目標に、様々な犬種を用いてグルーミングを行います。また、お客様の要望を的確に聞き、提案のできる接客を実践を通して身に付ける。	2通	544	16			○	○			○	
○			キャットグルーミング実習（2）	猫種ごとのグルーミング方法の違いやショーキャット用のグルーミング方法について学びます。	2通	136	4			○	○			○ ○	
○			キャットコミュニケーション（2）	猫との最適なコミュニケーションの取り方、アジリティやしつけ方法について。また飼い主様に対してのしつけアドバイス方法に関して学ぶ。	2通	136	4			○	○			○ ○	
○			ドッググルーミング学（2）	カット犬種を中心に様々な犬種のカット方法を知識として習得する。	2通	68	4	○			○			○	

○			ペットショップ販売学	ペットショップで取り扱う商品の知識や動物の種類ごとに必要になってくる用品についてお客様へどのように提案するか学習する。	2後	34	2	○			○		○			
○			猫の繁殖学	繁殖時の注意点や性周期サイクル、遺伝にかかわることなど繁殖に関することを全般的に学ぶ。	1後	34	2	○			○			○		
○			愛玩動物飼養管理學	動物関係法令や動物愛護運動史、保健衛生、公害問題、動物の疾病予防、管理士の社会活動、各種動物の飼養管理、犬猫のしつけ等の知識を体系的に学ぶ。	1通	68	4	○			○			○		
○			犬学	犬体の名称や構造、骨格、犬種別の用途、特徴などを学ぶ。	1通	68	4	○			○			○		
○			カットデザイン演習(美学)	犬体の特徴をとらえ、デッサンをすることで身体作りを理解するとともにカットの仕上がりイメージを分かりやすく絵で表現できる方法を学ぶ。	1通	68	4		○		○					○
○			キャットグルーミング実習(1)	猫の健康状態を把握しブラッシングや爪切り、シャンプー等の基本的な美容作業について実習で学ぶ。	1通	544	4				○	○			○	○
○			キャットコミュニケーション(1)	猫の本能、習性を活かしながら負担を最小限に抑えたトレーニングやしつけ方法について学ぶ。	1前	136	1				○	○			○	○
○			ドッググルーミング学(1)	シャンプー理論、皮膚や被毛の状態などカットに関する知識と各犬種の特徴をとらえたカット方法について学ぶ。	1通	68	4	○			○				○	
○			ドッググルーミング実習(1)	犬の健康チェックの実施、ブラッシングや爪切り、シャンプー等、美容作業の基礎となる技術について学ぶ。	1通	544	16				○	○			○	
○			猫学(1)	猫の歴史や体の特徴、習性、飼育方法について学習する。	1通	68	4	○			○			○		
○			猫学(2)	猫種ごとのスタンダードについてや猫種ごとの性格の違い、猫を販売する際の法律について学ぶ。	2通	68	4	○			○				○	
○			ペットの病気と健康学	犬・猫に多い病気についてその原因や予防・治療方法についてなどを学習する。	2前	34	2	○			○			○		
○			小動物飼養管理學	ペットショップに流通している小動物の生態、飼育方法や病気、販売方法について学ぶ。	2前	34	2	○			○			○		
○			猫の行動学	猫の持つ習性や行動を理解し、問題行動とされる行動の原因と予防・改善方法について学ぶ。	1後	34	2	○			○				○	
○			しつけ入門	犬の基本的なしつけ方法やトリミングテーブル上でのコントロール技法について学ぶ。	1後	34	2	○			○			○		

合計	27科目	単位時間(100単位)
----	------	-------------

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
各授業科目において、5分の4以上出席し履修が認められ、成績評価において合格し修了を認定された者。また、所定の年限以上在学し、課程を修了したと認めた (留意事項)	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	17週

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。